

【一】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

新しい芸術について語り、芸術は、つねに新しくなければならぬと主張するまえに、「新しいということは、何か」という問題をはっきりさせたいと思います。

まず、新しいという言葉そのものについて、考えてみましょう。意外にも、大きな問題をふくんでいます。だいいち、この言葉の使い方に、混乱が見られるのです。たとえば、新しいということは、無条件に清純で、ちょうど酸素のように、それがあって、はじめて生きがいをおぼえるような、明かるい希望にみちたものです。

ところで、また、これが逆によくない意味で使われることがあるのは、ご存じのとおりです。つまり、また無条件に、なまっちょろくて未熟、確^①としたものがない、軽佻浮薄^{けいちょうふはく}の代名詞にもなるのです。

おなじ言葉に、このような二つの相があり、反対の価値づけをされています。一方にとって強烈な魅力であり、絶対的であればあるほど、それだけまた一方には、対極的に反発し、悪意をもつ気配も強いのです。これが抽象語におわっているあいだは問題はないのですが、いったん社会語として、新旧の世代によって対立的に使い分けをされはじめると、思いのほか深刻な意味あいをふくんできます。いったい、どういうわけで、どんなぐあいにこの対立が出てくるか、見きわめる必要があります。

新しさをほこり、大きな魅力として押しだしてくるのは、それを決意するわかい世代であり、このもりあがりについて、古い権威は、既成のモラルによって批判し、遮断しようとするのです。

もちろん、今の権威も、かつてはそれ以前の権威を否定して出てきた新しいものだったのです。つまり、つねに **Q** はしつぶそうとするのです。たとえ、そのような敵意を意識していないとしても、おたがいの無理解は運命的です。 **R** は、おのれを守るために、この伸びてくる **S** を危険視し、押

若さが、あまえて、ふわふわしているあいだはいい。しかし、ほんとうに何かやろうとしたり、自分の考え、仕事をぶつけていこうとすると、意外に、かならず強い抵抗にぶつかります。その壁はあつい。

若者の情熱は新しい夢にむかつて燃えあがります。それが筋のとあったことであり、十分実力があつたとしても、今までなかったこと、新しいことであるという理由で、なかなか通用しない。「青二才の夢」だとか、理想論だとかで、かたづけられてしまっています。「なまだ」とか、「いい男だが、若いよ」なんて、まるで恥ずべきことのように言われる。それでも断固として主張し、Aぶつかっていけば、「若いくせに生意気だ」と頭からどなりつけられるくらいがオチでしょう。

このようにいつでも判断の対立があり、そのぶつかりあいの中でこそ、新しい価値が創造されるのです。歴史的に、どっちの側によけいにパワーがかかっているかによって、時代の起^②フクがわかります。

世の中が新鮮で動的な時代には、新しさが輝かしい魅力として受けいれられ、若さが希望的にクローズアップされます。しかし反対に、動かない、よどんだ時代には、古い権威側はB新しいものをおさえつけ、自分たちの陣営を固めようとします。

どうも年とつた世代というのは、意地がわるい。一人一人としては、けっこう、お人よしですが、より集まって権威的な雰囲気をかもしだすと、とたんに墓石のような暗さ、重さになります。

「近ごろの若いものは……」などという、言いまわしがあります。これは、おそらく、はるか大昔からつづけられてきた繰りごとでしょう。現在しぶい顔をして、そんな文句を言っている人でも、かつて若かったころには、自分の親父^{おやじ}とか先輩などに、さんざんそう言われて罵^{のの}られてきたにちがいないのですが、そのくせ、こんど自分の番になると、やはり同じような言葉づかいで、新しく出てくるものをさまたげようとしています。自分では正直に良心的に、Cきわめて好意的に判断しているつもりでも、新しくおこってきたものが危険に見えてしかたがないものです。

ところで、そこが問題です。新しいものには、新しい価値基準があるのです。それが、なんの衝撃^{ショック}もなく、古い価値観でそのまま認められるようなものなら、もちろん新しくはないし、時代的な意味も価値もない。だから、「いくらなんでも、あれは困る」と思うようなもの——自分で、とても判断も理解もできないようなものこそ、意外にも明朗な新しい価値をになっているばあいがあるということを、十分に疑い、慎重に判断すべきです。

たとえ未熟でも、若いということは生命的にのぞましいことです。いくら年のコウ、亀のコウを鼻にかけ、若いものを見さげて

も、やはり年寄りだと言われるといやな気がするし、若いと言われればおせじだとわかっていてもうれしくなる(芸者などに「おにいさん」と呼ばれて、けつこうヤニさがついています)。若いということは、無条件にいいことだと考えてよいのです。

そして、若さこそ二度と取りかえせないものです。若いものの言動が気になるのは、それにたいする絶望的な一種のやきもちであり、ひがみ根性だと考えるべきです。

「近ごろの若いものは……」などと、かりそめにも言いたくなりだしたら、それはただちに老衰の初期徴候だと考えて、口には出さず、つつしんだほうが御身のためだと忠告しておきます。

尊敬すべき老人にたいしては、やや苛酷かこくで乱暴なものの言い方をしたようですが、しかし私がここで年寄りというのは、けっして、たんに年齢的な意味だけではないのです。若さというのは、その人の青春にたいする決意できまります。いつも自分自身を脱皮し、固定しない人こそ、つねに青春をたもっているのです。現在、権威とされているものでも、かつて、古い権威を否定したときの情熱をもちつづけ、さらに飛躍して自分自身と時代をのりこえて進んでいるばあいには、その人はうち倒される古い権威側ではなく、若さと新鮮さの陣営にあるのです。また、いくら年齢的に若くても、妙に老成し、ひねこびて固まっている人もいます。大きく歴史的に見れば、若い新しい世代が、古い世代をのり越えていくことはたしかですが、個々のばあいは、かならずしもそのとおりに当てはめられません。くれぐれも肝きもに銘めいじてほしいのは、年功が無意味であると同じように、また、たんに年齢的な若さも、けっして特権ではないということです。

もちろん、ヨーロッパにも新旧世代の対立はあり、青二才とかくちばしが黄色いとかいうような意味あいの言葉もあります。しかし、日本とは逆に、若さは誇りとされていますから、決定的な悪口にはなりません。モウロクをけなす言葉の方がはるかに優勢です。老人たちは、「近ごろの若いものは、だめだ」と言うかわりに、「わしの若いころは、はるかにすばしかった」と、うらやましがらせようとするのです。現在を生きぬく責任を持たないものは、とかく過去を美化してその中に逃げこもうとするもので、これも空ぎまんキョな自己欺瞞ぎまんであり、繰り返言ですが、現在の若さを圧迫する響きをもたないだけ、ましと言えましよう。

ところで、さらに、新しいという言葉があいまいに使われているばあいがあります。[I]たとえば、古典のすぐれた芸術作品を

「永遠に新しい」などという、その使い方です。これは、芸術の傑作がつきせぬ感動の泉であり、いつ見ても新鮮な気配があるという、その意味で「新しい」という表現をするのです。

あるとき、「芸術の新しいさ」という問題で、討論会をしたことがありました。まだ法隆寺の金堂こんどうが焼失する前のことでした。が、そのとき、ある日本画の大家が、私に猛ゼン④とくつてかかり、「法隆寺の壁画は新しくないか」とどなった。あまり突拍子もなく、ややコッケイなほどでした。そんなふうに興奮するというのは、彼らがしじゅう、自分の仕事は古いんじゃないか？と、ひがんでいるせいだろうと推察しました。つまり、「自分は、けっして古いんじゃないんだぞ」と E ために、狡猾にも、だれも反対することのできない法隆寺の壁画を証拠にもちだしてきたのでしょう。

ところで私が、「古いよ。千年以上もたってるからね」と、いささかも動じないでこたえましたら、彼は、とたんに二の句がつげず、赤くなったり青くなったり、フウフウしているばかりでした。

これは、やや意地のわるい返事のしかただったのですが、しかし、私の言葉、態度は正しかったと思います。Ⅱこの日本画家のような奇妙な混乱におちいらないために、どうしても、いちど、「新しい」という言葉の使い方を、厳密にわりきってみなければならぬのです。

つまり、法隆寺金堂の壁画のような、すぐれた芸術は、今日なおわれわれの魂に新鮮にふれてくるものがあるわけです。「ギリシャ彫刻の永遠の新しいさ」などと言われるのも、その意味です。だが、これはあくまでも言いまわしであり、形容詞として使われるのであればなりません。法隆寺の壁画は、なんといっても千年もまえのものであり、ギリシャ彫刻は二千年もたっている。作者、材料、そしてそれが耐えてきた長い年月、歴史、そのすべてにおいて古いのです。

もし、それを新しいというならば、それは現在、新しい時代に生きているわれわれ自身が、そのように感じとるからなのです。われわれの魂が新しさにたいして情熱をもっており、それにふれてくるものがあるからです。Ⅲもし骨董屋こつどうやが見たばあいは、「ああ、これは古い、たいしたものだ」というふうに、職業的な嘆セイ⑤を発するでしょう。

さきほどの日本画家はやや現代人としての良心をもっていたために、新しいということに感動したのです。これは悪いことでは

ない。が、はなはだ残念に思うことは、現在生きている彼自身の作品が、千年まえの絵よりも新しいという感じをあたえないということ。なによりもまず、彼の作品自体が新鮮であることが、先決問題です。千年まえの壁画に新しさを圧倒されては、今日の芸術家としてまことに情けない。そのくらいなら、ただちに絵筆を折って、芸術なんてやめたほうがよいのです。〔Ⅳ〕

自分が新しくあるというほうは抜きにして、「法隆寺は新しいじゃないか」などと言っている、まったくはじまらないのです。ところが、古い世代のなかには、このような手あいが多く、新しいという言葉逆手に使って、新しい時代の切実なものを否定しようとする。おのれが非力だと知っている、まったく縁もゆかりもない、一筆だつて協力したわけでもない古典の名作を自分の権利のように言いがかりをつけるのです。他人のフンドシで相撲をとる根性です。彼らの古典鑑賞は、じつは少しも新しくない、彼らの仕事程度に古くさい型の上に立っているばあが多いのですが、それを新しいという言葉でおおって、ごまかしているのです。

新しいものはなんでもダメだ、というコチコチの保守派より、かえってこういふ、たまたま、かけた、ポーズだけの新しがりやのほうがしまつにこまるのです。自分でも、おのれの小姑こじょうと的な役割に気づいていないし、若い世代もうっかりすると、その口さきにごまかされる危険があるからです。

さて、新しいということが、このようにさまざま、複雑で、矛盾した意味に使われていることがおわかりになったと思います。言葉の使い方のうらには、あいりない対立的な立場、時代的な断層があるのです。にもかかわらず、おなじ共通語でちがった考えを主張するから、混乱がおこってくるのです。

このように言えば、新旧の対立を、やや図式的に二分しすぎ、新しい芸術家の立場から身びいきな言い方をしているように感じられるかもしれません。しかし、歴史をひもとけば、あらゆる時代に残酷な新旧の対立があり、新しいものが前の時代を否定し、打ち倒して、発展してきていることがわかります。

自分の時代だけを考えると、どうしても、ものの見方が近視眼的に、安易におちいりやすいので、どこまでも広く、深く冷静に観察すべきなのです。

設
問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

① 確コ	(ア コ 辞	イ コ 性	ウ 回コ	エ 事コ	(	1
② 起フ ク	(ア フ ク兵	イ フ ク従	ウ 報フ ク	エ フ ク数	(	2
③ 空キヨ	(ア 除キヨ	イ 論キヨ	ウ キヨ 偽	エ キヨ 諾	(	3
④ 猛ゼン	(ア 営ゼン	イ 公ゼン	ウ ゼン 次	エ ゼン 処	(	4
⑤ 嘆セイ	(ア セイ 差	イ 反セイ	ウ セイ 唱	エ 罵セイ	(	5

(二) 空欄 A () E に入る語句として適切なものを、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

A (ア 抵抗せず	イ ひるます	ウ 恥を知らず	エ 甘やかさず	(	6
B (ア はっぱをかけて	イ 腹をわって	ウ 一目おいて	エ かさにかかつて	(	7
C (ア あわよくば	イ しばらく	ウ むしろ	エ うっかり	(	8
D (ア かわるがわる	イ ゆめゆめ	ウ うすうす	エ こわごわ	(	9
E (ア 弁解したい	イ 進言したい	ウ 告白したい	エ 白状したい	(	10

(三) 主旨を変えずに傍線部 **a** を言い換えた表現として、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 11

ア 新しい価値観を否定していない

イ 過去を美化していない

ウ 若さをうらやましがらない

エ 現在を生き抜く責任を持たない

(四) 空欄

P

S

 に入る言葉の組み合わせとして、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 12

P

Q

R

S

ア 古い世代

若いもの

新しいもの

古い側

イ 若い世代

古い権威

古い側

新しいもの

ウ 古い世代

若いもの

古い側

新しいもの

エ 若い世代

古い権威

新しいもの

古い側

(五) 本文中の「Ⅰ」～「Ⅳ」のうち、次の一文が入るべき適切な場所を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 13

つまり、その感動が極めて現在のだからこそ、新しいと感じるのです。

ア Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ

(六) 次の各文のうち、本文の内容と合致するものを一つ選び、その記号をマークしなさい。14

ア 「新しい」とは、経験が不足した若者の未熟な行動を、好意的に解釈した言葉である。

イ いつの時代も、古い世代は若い世代を排除し、既存の価値観を守りぬいた。

ウ 法隆寺の壁画やギリシャ彫刻を「永遠に新しい」と評価する姿勢に、反発する芸術家もいる。

エ 古い権威を否定する情熱を保ち続けられるか否かは、必ずしも年齢に関係はない。

(七) 傍線部 **b** と同じ意味・用法の「が」が用いられている文を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。15

ア 天気は悪いが、スタジアムは満員だ。

イ 兄はサッカーが上手だが、弟はあまり上手ではない。

ウ もう時間が時間だから、あの店は閉まっていると思う。

エ ききのう彼に会ったが、とても元気そうだった。

【二】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

日本人はなぜ、これほどまでに大谷に熱狂するのだろうか？

わざわざ問うような話ではないかもしれない。大谷は日本で最高のアスリートであり、自国が生んだトップアスリートに夢中になるのは当然といえば当然だ。それにしても、近年の日本における大谷フィーバーはすさまじく、時に A のようである。なぜ僕ら日本人が大谷に夢中になるのか、いま一度考えてみたい。

まずシンプルに大谷は、2024年の時点で世界最高の野球選手であるだけでなく、史上最高の野球選手であると言っても過言ではない。そうした事実が多くの日本人を興奮させている。

アメリカのMLB報道では、選手のことを「product」と表現することがある。たとえば野球大国として知られるベネズエラ出身の選手は「Venezuelan product」など、選手の出身地を頭につけて表記することが多い。それに倣うと大谷は紛れもなく「Japanese product」、すなわちメイド・イン・ジャパンの野球選手だ。かつて日本製の自動車や電化製品がアメリカ市場を席巻したように、大谷はアメリカ球界でセン風を巻き起こした。大谷が「Japanese product」とあるという認識^②があるからこそ、僕ら日本人は彼の活躍を誇りに思う。

スポーツ選手に限らず、日本人が世界で活躍する姿を見るのは日本人にとって嬉しいものだ。そして大谷は「世界で活躍する日本人」を最高の形態で体现している。

また、大谷は世界最高の野球選手であるだけでなく、唯一無二の野球選手でもある。彼はMLB史上初の本格的な二刀流選手であり、現代野球では不可能と考えられていたことをとんでもなく高い次元でやってのけているのだ。大谷はナンバーワンであるだけでなく、ナンバーワンでもある。

日本社会では「前例のないことはできない」「イノベーションが起きない」などと言われて久しいが、大谷はアメリカでも前例がなかったことを見事にやってのけており、その存在自体が最高にイノベティブだ。年々閉塞感が高まっているように感じられる

社会で生きている僕ら日本人にとって、アメリカで伸び伸びとプレーする大谷の姿はこれ以上なく眩しく映る。大谷こそは日本発のイノベーションだ。多くの人が「イノベーション」という言葉から連想するITやライフサイエンスといった分野ではなく、指導者による体罰がいまだ問題になるような野球界から大谷翔平という最高のイノベーションが生まれたという事実は面白い。日本人、あるいは日本人に限らず人間は「自由」のもとではなく「抑圧」の中でこそ、壁をぶち破り新しいものを生み出そうというパワーを発キするのかもしれない。〔I〕^③

そして、日本における大谷フィーバーを考えると、大谷はあくまで「ひとりの選手」として成功している事実も重要だ。

たとえば、野球の日本代表は過去の国際大会でも好成績を残してきたし、近年はサッカーやラグビーの日本代表も躍進している。しかし、それらはあくまでも「チーム」としての成功であり、必ずしも「突出した個人」がいたわけではなかった。第1回そして第2回WBCで日本代表を連覇に導いたイチローは、MLBの殿堂入りが確実視されている偉大な選手だが、それでも大谷ほど突出した存在ではなかった。大谷と比べるのははやアンフェアだが、イチローはあくまでも「MLB最高の選手のひとり」であり、また「MLBにおける日本人野手のパイオニアでもあったが、それ以上ではなかった。今や多くの日本人選手が欧州でプレーするサッカーでも、たとえばメッシやクリスティアーノ・ロナウドらとバロンドール（世界年間最優秀選手）を争うような日本人選手は出ていない。

そんななかで大谷は、Xに突出した選手として現れた。「MLB最高の選手のひとり」どころではなく、野球史に残るYなスーパースターである。

大谷は、野球というスポーツのルールさえも変えてしまった。MLBは2022年シーズンから「投手として出場した選手は降板後も指名打者としてラインナップに残ることができる」という、いわゆる「大谷ルール」を導入した。そのネーミングが示すように、今やMLBの顔である大谷を可能な限り試合に出場させることを事実上の目的としたルール変更である。野球発祥の地、アメリカで野球のルールを変えてしまったのだから、大谷は文字通りのゲームチェンジャーだ。既存のルール内で最高のパフォーマンスを見せるのが一流のアスリートだが、ルールそのものを変えてしまう大谷は異次元の存在と言うしかない。そんな選手が日本か

ら出てきたという事実には、僕ら日本人は興奮を隠せない。

Zに「突出した個人」を好まず「横並び」が善しとされる日本社会では、よく「出る杭は打たれる」と言われる一方で「出すぎた杭は打たれない」とも言われる。大谷は「出すぎた杭」だ。ここまで突出しているともはや誰もその杭を打つことはできず、称賛するのみ。そして僕ら日本人は「出る杭は打たれる」社会に生きているからこそ、心のどこかで「突出したヒーロー」を求めているのだろう。

自分自身が「出すぎた杭」になれないのならば、**B**別の誰かがそうなってくれないだろうか？そんな日本人の深層心理に、最高のかたちで応えているのが大谷なのかもしれない。**Ⅱ**

僕ら日本人が大谷に夢中になる理由として考えられることを書き連ねてみたが、野球選手としての実力や実績だけでなく、彼の外見、**C**言うところ「見た目のカッコよさ」も大谷の人気を語るうえで無視できないだろう。

日本でプレーしていたころの大谷はまだ表情には幼さとあどけなさが残っており、体の線も細かった。しかし間もなく30歳になる今、大谷は凛々しさと爽やかさを兼ね備えたイケメンであり、何より鍛え上げられた肉体美が目を見張る。かつてアトランタ・ブレーブスの中心選手として活躍し、2018年にアメリカ野球殿堂入りを果たしたチップ・ジョーンズは、大谷の肉体についてこう表現している。

「これまで見てきたベストな野球体型のひとつ……彼はアドニス（ギリシャ神話に登場する美少年）だ」

ただでさえ身長194cmという長身、スラリと長い脚、かつ小顔というバリコレモデル顔負けのプロポーションを持つ大谷だ。近年、オフシーズンにメディアの取材を受けた際などに目にするスリット姿の大谷は、野球選手というよりハリウッドスターのようであり、たとえばHUGO BOSSやポルシェといったファッショ性の高いグローバルブランドが大谷とアンバサダー契約を結んでいる理由もそこにあるのだろう。SNSのように表ソウ的^④でインスタントなコミュニケーションが量産される現代社会は、良くも悪くもルッキズムに支配された時代と言えるが、大谷はその外見だけでも人に何かを訴える力を持っている。今風に言うところ「映^ばえる」のだ。

D外見だけでなく、大谷の人柄やキャラクターも重要な要素だろう。メディアが映し出す大谷に対して僕らが抱くイメージは「優しく礼儀正しい好青年」「無邪気で人懐こい」、「でも勝負の時は真剣」「時々お茶目でユーモアもある」といったところだろ

うか。死球を与えた相手打者に謝ったり（MLBの投手は基本的に謝らない）、ダッグアウトでゴミを拾ったり（MLBのダッグアウトはゴミだらけ）、チームメイトと冗談を言い合う姿などが日本のメディアでも再三紹介される。その[E]な外見とともに、人から嫌われる要素が全くない、というか好感度抜群だ。野球ファンや若い女性だけでなく、小さな子どもからおばあちゃんまで文字通り老若男女の心をつかんでいるのは、そのキャラクターによるところが大きいだろう。大谷が「野球選手である以前にまず、文化的アイコン」であるゆえんだ。[Ⅲ]

大谷は日本にいる頃からスーパースターではあったが、そのステイタスがさらに一段も二段も高まったのはやはり、アメリカでプレーするようになってからだ。

大谷が日本だけでなく世界で、というかアメリカで認められたという事実は大きい。極東の島国に暮らす「辺境人」である僕ら日本人は、昔から中国や欧米などその時々で「世界の中心」だった場所の文化、習慣を取り入れながら生活してきた。常に外来の文化や習慣を参^⑤ショウし、それを独自にカスタマイズしてきた僕ら日本人は、自分たち自身でこしらえた価値判断のモノサシに絶対的な自信を持てず、常に「他者の評価」を気にしてしまうという性^{さが}がある。今日では、とくに欧米という「世界の中心」の評価を。

大谷が23歳で渡米し、MLBで活躍してアメリカで評価されて初めて、僕ら日本人は「大谷は本当にすごいのだ!」という確信を得た。日本メディアの報道を見ると、たとえば「MLB公式サイトが大谷を特集」「ニューヨーク・タイムズの記者が大谷を絶賛」「対戦相手の監督が大谷に脱帽」といった類いの見出しで溢れている。「大谷はアメリカでこれだけ注目されていますよ!」「アメリカでも高く評価されていますよ!」ということを伝えているのである。大事なのは自分たち日本人の評価ではなく、アメリカ人がどう評価しているのか、なのだ。もっとも、アメリカ人のコメントにはお世辞やリップサービスが多分に含まれている場合もあるので、多少割り引く必要はあるのだが……。

とはいえ、大谷フィーバーは何も日本だけでのことではなく、アメリカでも今や大谷は押しも押されぬ「MLBの顔」であることは確かだ。

2022年、ニューヨークの中心地であるタイムズ・スクエアには、大谷がパッケージの表紙を飾った野球ゲーム「MLB THE

SHOW 22」の巨大広告が登場。大谷は『GQ』や『TIME』といった名だたる雑誌の表紙を飾り、2021年にはTIMEが選ぶ「世界で最も影響力のある100人」にも名を連ねた。2023年のWBCに出場したチェコ代表の選手たちは大会前に「対戦を楽しむにしている選手は誰か？」と聞かれ、全員が「Shohei Ohtani」と答えた。同年のMLBオールスターゲームのファン投票で、大谷はリーグ最多の得票数だった（日本からの投票も含まれているが）。そして同年12月、大谷はロサンゼルス・ドジャースと10年総額7億ドル（約1015億円）という「スポーツ史上最高額」で契約を結んだ。〔IV〕

野球はサッカーほど世界的に普及しているスポーツではなく、野球が盛んな地域は主に北米と中南米の一部、そして東アジアに限定される。しかし、その限られた野球界において大谷は、今や世界の誰もが知る真正正銘のグローバルスターなのだ。

（内野宗治『大谷翔平の社会学』より）

設
問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

①	セ ン 風	(ア	セ ン 律	イ	セ ン 移	ウ	セ ン 望	エ	セ ン 烈	(	16
②	認 シ キ	(ア	座 シ キ	イ	見 シ キ	ウ	シ キ 彩	エ	葬 シ キ	(	17
③	発 キ	(ア	キ 限	イ	危 キ	ウ	指 キ	エ	知 キ	(	18
④	表 ソ ウ	(ア	ソ ウ 談	イ	輪 ソ ウ	ウ	車 ソ ウ	エ	階 ソ ウ	(	19
⑤	参 シ ヨウ	(ア	訴 シ ヨウ	イ	故 シ ヨウ	ウ	シ ヨウ 射	エ	論 シ ヨウ	(	20

(二) 空欄 A E に入る語句として適切なものを、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

A	(ア	狂 気	イ	運 気	ウ	正 気	エ	悪 気	(	21
B	(ア	た ぶん	イ	ど う して	ウ	せ めて	エ	あ た かも	(	22
C	(ア	な にかと	イ	ひ ら たく	ウ	む ず かしく	エ	い そ がしく	(	23
D	(ア	ほ と んど	イ	ど う して	ウ	ま ったく	エ	も ち ろん	(	24
E	(ア	魅 力的	イ	副 次的	ウ	多 角的	エ	独 創 的	(	25

(五)

傍線部 **a** を言い換えた表現として適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。

28

ア 大谷は最高水準の野球選手で、彼のように優れた選手は日本にはいなかった。

イ 大谷は日本の現役野球選手の中で特別に優れた選手で、彼に匹敵する選手はいない。

ウ 大谷のように投手・打者の二刀流で活躍した野球選手は、日本では彼が初めてである。

エ 大谷は投手・打者の両面において、世界最高水準の能力を有した希有の存在である。

(六)

次の各文のうち、本文の内容に合致しないものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。

29

ア 大谷の評価について、我々日本人はアメリカにおける評価を気にしている。

イ 大谷は、MLBの殿堂入りが確実視されているイチローを超える存在である。

ウ 大谷は、「個性」の強い日本の球界で育ったのでイノベータータイプな存在になった。

エ 大谷が老若男女に支持されている要因は、その人柄やキャラクターにある。

【三】 次の設問に答えなさい。（解答は記述問題用の解答用紙に記入すること。）

左記の例文は、「学校の部活動は、その運営や指導を地域の団体へ移行すべきである」という意見に対して、賛成の主張を述べた文章である。これにならって、この意見に対して反対の主張を述べた文章を作成せよ。

【例文】

私はこの意見に賛成である。なぜなら、部活動に関する教員の業務負担は過重労働の一因であり、教員の働き方改革には必要な措置とみなせるからである。

なお、答案は解答欄の形式に従うものとし、「なぜなら、」に続けて六〇字以上一〇〇字以内（解答欄にすでに記載済みの文字数も含む）で記述すること。

（問題終わり）